

長期ビジョン(中間案・2回目)への府民意見に対する京都府の考え方

区分	ご意見・ご提案(要旨)	京都府の考え方
全	知事が替わるたびに少しづつ方向性が変化していくので一貫した政策に取り組むべき。その上で、時代の変化にあわせて実行に移す方法が良いと考える。	<p>「明日の京都」では、普遍的な行政運営の基本理念や原則等を示す「基本条例」と、めざす将来の京都府社会の姿を示す「長期ビジョン」を策定することとしています。</p> <p>そしてこの長期ビジョンは10年先、20年先を展望して、これからの京都府がめざす社会をお示しており、変化の激しい今の時代に、的確に、また機動的に対応していけるよう、併せて4年から5年間の戦略を中期計画として策定し、実現をめざすこととしています。</p>
	行政には基本と高い理想が大切である。	
	計画の中心となる考えが複雑になってきているので、もっとわかりやすく、簡単にしたい。また、時代に合わせつつ京都らしさを出していくべきと考える。	私達を取り巻く現代社会はグローバル化をはじめとして、それぞれの人の価値意識も複雑化・多様化している中、この長期ビジョンでは京都の良さである「和」や「共生」といった価値観を大切にしながら、現代に合わせて「人の絆」と「コミュニティ」をもう一度築きあげ、新しい時代への基礎としていきたいとの考えをできるだけわかりやすくお示できるよう努めています。
	「明日の京都」は特徴が見えないが、対策の重点化が必要と考える。	<p>時代の変化の中で様々な課題が生じ、暮らしや将来への不安に包まれている現状にあると考えています。こうした現状の中で、この長期ビジョンでは、まず、府民の皆様の安心を再構築し、信頼と絆でつながった地域共生の社会を実現することで、皆様が力を発揮できる暮らしの基本を整え、そして、様々な活動や取組を応援することで、新しい京都への道を拓いていきたいと考えてます。こうした基本方向をもとに政策面では、これまでに整備してきた社会基盤などを十分に活かしながら、きめ細やかなソフト政策に力を入れていきたいと考えています。</p>
総花的な計画はやむを得ないが、実行が何よりも大切と考える。		
ビジョンは「守」の上に「攻」があると思う。		
体	ビジョンや計画は固定的なものではなく、フレキシブルに見直し、進化するものであってほしい。	<p>長期ビジョンも中期計画も、その時々々の京都府社会の現状に照らして、それらが示す社会の姿や取組の方向を常に点検しながら進めていくこととしています。</p>
	長期ビジョンも中間的な見直しを行うようにしてほしい。	
	ビジョンを表現するキャッチフレーズみたいなものが必要ではないか。	こうした長期ビジョンのめざす社会の実現には、府民の皆様と思いを共有することが何よりも大切であると考えており、今後そのための取組なども考えていきたいと思っています。

基本方向	府民安心の再構築	安心の再構築は人間にとって大変大切なものとする。	時代の変化の中で様々な課題が生じ、暮らしや将来への不安に包まれている現状にあると考えています。こうした現状の中で、この長期ビジョンでは、まず、府民の皆様の安心を再構築し、信頼と絆でつながった地域共生の社会を実現することで、皆様が力を発揮できる暮らしの基本を整え、そして、様々な活動や取組を応援することで、新しい京都への道を拓いていきたいと考えています。
		京都の人がマナーを大切にすまちなってほしい。	長期ビジョンでは、基本方向の府民安心の再構築に「学びの安心」を位置付け、社会参画や規範の意識などの人間力を育む取り組みを進めてこととしています。
		不況の中で苦しんでいる人も多く、将来の子育てや医療への不安も増えているので「府民安心の再構築」の実現を望む。	暮らしや将来への不安の中で、閉塞感のようなものが漂っている現状にあると考えています。このため、この長期ビジョンでは、府民お一人おひとりの生き方や暮らしに視点を置いて、「子育て・子育て」から「学び」や「働き」、「医療・福祉」や「長寿」、さらに「暮らし」に至るまで、府民の皆様の「安心」を再構築していきたいと考えています。
		「健康長寿」の取組を進め、府民理解を向上させることが大切。	少子化・高齢化が進み、人口減少社会・長寿社会を我が国は迎えようとしています。この長期ビジョンでは、そうした中であっても、だれもが人間らしく、生きがいをもって人生をまっとうし、健康長寿をころから喜べる京都をめざし、健康で突然の病気やけがにも困ることのないような社会や、療養・介護や生きがい・やりがいづくりを通じて長寿を謳歌できる社会づくりを進めることとしています。
基本方向	地域共生の実現	地域でもなかなか意見がまとまらないことが課題である。また、この京都が障害のある人も子どもたちにとっても安心安全なまちであってほしい。	長期ビジョンでは、地域社会が信頼の絆で結ばれ、つながり、支え合う京都づくりを基本方向の一つとしており、家庭を始め、職場や学校、地域などで様々な絆を結び合い、また、新しい時代にふさわしく、地域の共同体やNPOなどが自由で開放的に活動するコミュニティのある社会のもとで、互いに助け合い、弱い立場の人々をしっかり支えることのできる京都をめざすこととしています。
		町内の活動に参加しているが、これからも子どもたちが住みたくなるようなまちにして欲しい。	
		人と人との繋がりと京都の文化への理解を深めなければ、京都らしさがどんどん失われていくと思う。	この長期ビジョンでは、地域社会が信頼の絆で結ばれ、つながり、支え合う京都づくりを進めていくこととしており、自由で開かれた新しいタイプのコミュニティのある社会づくりや地域の課題解決に向け地域のみんなが連携・協働する社会づくりに向けた政策を展開していくこととしています。
		地域それぞれがバラバラにならず、府域全体が連携することで京都の活性化につながると考えるので、そうしたことを方針に入れて欲しい。	長期ビジョンでは、基本方向の「京都力の発揮」に希望に輝く地域づくりを位置付け、府内の全ての地域で夢のある地域づくりが展開し、それぞれの地域が希望に輝き、そして地域間の交流と連帯により府域が一体となることで一層魅力が増す京都をめざすこととしています。
基本方向	京都力の発揮	府内の自治体間の格差を是正する取り組みを進めてほしい。	この長期ビジョンでは、それぞれの地域で特色ある地域づくりが展開し、それぞれの地域が希望に輝ける「みやこ」となるよう、夢のある地域構想の展開や多様で多彩なプログラムを展開していくこととしています。
		”DO YOU KYOTO?”という言葉は使わないのか。	この長期ビジョンでは、”DO YOU KYOTO?”が意味する「環境にいいことしていますか？」という行動が具体的にはどういふものであるのかということ、持続可能な人類社会のモデルとして世界の範なる環境が実現する京都づくりという中でお示しています。